



水中オートポンプが動かない!?

水位が上がっているのに動かないのは何故だろう。

水中オートポンプは水は通電するという特性を利用して、ある程度の水位（2本の電極棒に触れる位置）以上あると自動的にモーターが作動する仕組みになっており、電極棒より水位が下がると、1分程度作動して自動停止します。

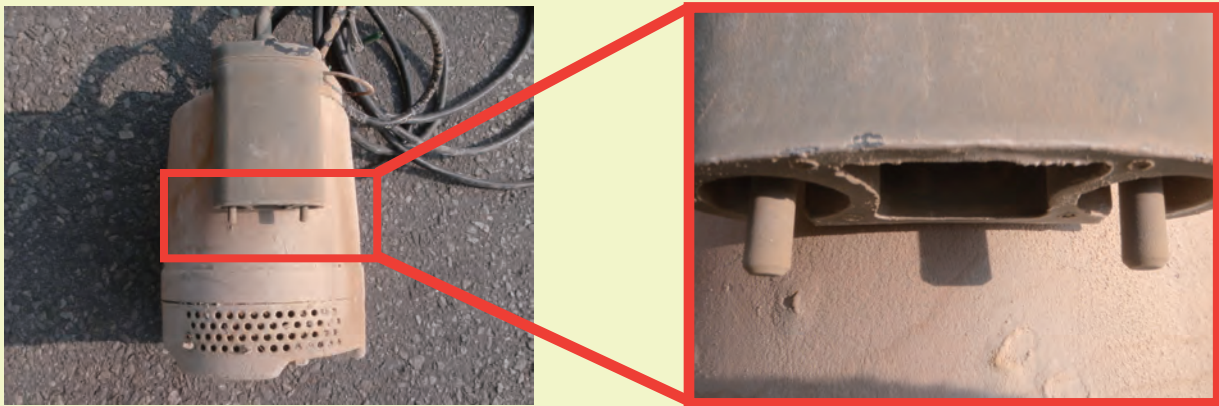
しかし、水位が上がっているのにポンプが作動しない、という現場からの問い合わせにどのように対応すればよいのでしょうか。

水位が電極棒に達しているにも拘らず吐水しないのには本体内部の詰まりが原因であるのも一つですが、ストレーナーを分解しても詰まっている形跡が無く、テスターで計測しても通電している、にも拘らず、モーターの作動音すらしない、この場合はいったいどうすれば良いのでしょうか？

■解決方法

写真の赤枠の部分、電極棒に注目してみてください。

水垢によって電極棒がコーティングされています。この水垢の絶縁の性質により、電極棒に水が触れていても通電されません。



そこで、機能を回復させるために付着している水垢をワイヤーブラシなどで擦り落としてください。



このように電極棒が姿を現すほど水垢を落とせば、オートポンプの機能は回復します。